



シラバス参照

<<最終更新日：2026年02月27日>>

基本情報

時間割コード	030917
開講区分(開講学期)	秋～冬学期
曜日・時間	月3
開講科目名	専門セミナー（行動科学論文リーディング）
開講科目名(英)	Special Seminar(Reading in Behavioral Science Research)
定員	0
教室	
ナンバリング	03ECBM2E403
授業形態	演習科目
単位数	2.0
年次	2,3,4年
担当教員	松井 博史
メディア授業科目	非該当

※メディア授業科目について
授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としています。
学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

講義室	
-----	--

詳細情報

授業サブタイトル	行動科学研究の文献調査・調査計画の基礎
開講言語	日本語・英語
学習方法	聴講・視聴: 講義・教材・実演を視聴して学ぶ（例：講義の対面受講、オンデマンド教材視聴） 読解: 本や論文を読解して学ぶ（例：論文要約、ウェブ情報の読解） 討論: 学生同士や教員との間で質疑応答や意見交換を行うことで学ぶ（例：ペア・グループディスカッション、オンラインでのチャット、論文個別指導） 調査: 本や論文から情報を収集したり、フィールドワークでデータを収集・分析して学ぶ（例：先行研究整理、フィールドワーク） 発表: 執筆、プレゼンテーション、作品制作等により学ぶ（例：レポート作成、プレゼンテーション、ポスター発表、作品制作、ポートフォリオ）
授業の目的と概要	実験心理学を中心とした行動科学の学習の入り口として、非専門家としての最低限の基礎知識と、疑問に応じた文献調査を行う能力及びある程度の調査や実験の立案経験の獲得を目指した授業です。 まず、基礎知識として、行動科学領域の研究について、定義や代表的な領域、論文の読み方や検索などの調査方法などを学びます。次に、与えられた課題もしくは独自で設定した課題について、文献などの調査やそこから得られたインサイトの発表、他者の発表の批判的検討を行うことで調査能力を養成することを予定しています。最後に、例えば業務として調査や研究を行う場合の計画やその実行の一部を行うことで、ある程度の調査を立案経験を獲得して頂く予定です。 最初の数回は教員が講義と、例としての調査結果や文献内容の発表を行うが、その後はスケジュールに基づき各受講生もしくは受講生グループが調査などを進め、進捗を論文の内容発表などの形で持ち回りで報告することを想定している。調査結果は最終的にはレポートとして提出を求める。 限られた期間と工数で一定の結果が得られるための、調査結果だけでなく、調査目的の達成するためにどのような調査方法を取ったかについての議論を通じ、調査結果自体のみではなく方法論的な学びを期待する。 なお、受講生の希望により、各自が設定した調査テーマではなく、講師が現在行っている企業との共同研究課題や、過去のコンサルティング事例等を調査対象の課題に選んでもよい。その場合は、成果の質に応じて実際の企業に結果を提供したり、フィードバックを得る機会が与えられるよう考慮する。

学習目標	1	課題に応じて論理的に調査計画を立案できる
	2	調査計画の1手段として適切な形で学術文献を検索できる
	3	論文の内容を理解し説明できる
	4	単純な調査計画が立案できる
履修条件・受講条件	ワーク・プレゼンテーションの実施や関連アプリケーションの利用のため、Windows, Mac, LinuxいずれかのPCまたは同等の作業ができる機器を持参してください。講義中に無料のアプリケーションのインストールや生成AIの利用を求めることがあります。	
出欠席及び受講に関するルール	全授業回数のうち3分の2以上出席することが必要です。出席回数がこれに満たない場合、成績評価の対象外となります。	
授業計画	1	題目:ガイダンス
		講義全体のガイダンス
		実務での研究調査の利用例
		授業時間外学習：参考文献の読書 サンプル論文の読書
	2	題目:調査の基礎・論文発表の方法
		調査設計の考え方 論文発表のサンプル 生成AIの活用法 論文検索の方法
		授業時間外学習：参考文献の読書 サンプル論文の読書
	3	題目:調査の基礎・論文発表の方法
		調査設計の考え方 論文発表のサンプル 生成AIの活用法 論文検索の方法
		授業時間外学習：参考文献の読書 サンプル論文の読書 調査の実施
	4	題目:調査実習
		調査計画の作成・レビュー 論文の検索
		授業時間外学習：調査の実施
	5	題目:調査実習
		調査計画の作成・レビュー 論文の検索
		授業時間外学習：調査の実施
	6	題目:文献発表
		調査計画と調査結果の発表 論文の発表 ディスカッション
		授業時間外学習：調査の実施
	7	題目:文献発表
		調査計画と調査結果の発表 論文の発表 ディスカッション
		授業時間外学習：調査の実施
	8	題目:文献発表
		調査計画と調査結果の発表 論文の発表 ディスカッション
		授業時間外学習：調査の実施
	9	題目:文献発表

		調査計画と調査結果の発表 論文の発表 ディスカッション	授業時間外学習：調査の実施			
	10	題目:文献発表				
		調査計画と調査結果の発表 論文の発表 ディスカッション	授業時間外学習：調査の実施			
		授業時間外学習：調査の実施				
	11	題目:調査実施計画の立案				
		調査実施計画の立案				
		授業時間外学習：調査実施計画				
	12	題目:調査実施計画の立案				
		調査実施計画の立案				
		授業時間外学習：調査実施計画				
	13	題目:調査実施計画の発表				
		調査実施計画の発表				
		授業時間外学習：レポートとして調査実施計画を提出				
	14	題目:調査実施計画の発表				
調査実施計画の発表						
授業時間外学習：レポートとして調査実施計画を提出						
15	題目:調査実施計画の発表					
	調査実施計画の発表					
	授業時間外学習：レポートとして調査実施計画を提出					
教科書・指定教材						
参考図書・参考教材						
成績評価 ※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。	評価方法	発表	レポート・論文	学習への参加度		
	学習目標1	○		○		
	学習目標2	○		○		
	学習目標3	○		○		
	学習目標4		○	○		
	評価割合（%）	30%	30%	40%		
成績評価に関する補足情報						
成績評価基準		成績評価基準については大阪大学Webサイトを参照 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/pdf/pjl2fk				
合理的配慮		・本授業を受けるにあたり、障がい（難病・慢性疾患等を含む）に起因して合理的配慮を要する場合は、 所属学部／研究科の障がい学生支援担当窓口（教務係／学務係／学生支援係等）や健康支援相談センターアクセシビリティ支援室に相談してください。 ・詳細はこちらを参照してください。 健康支援相談センターアクセシビリティ支援室 Website： https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp 相談申込み： https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp/soudan/				
特記事項						
実務経験のある教員による授業科目		担当教員が心理学・行動科学領域の研究の後、長く実務を担当してきた実務家教員であることから、実務での活用を見据えた内容を特色とする。一方で講義内容は心理学系の行動科学にやや偏ったものになる。				

授業担当教員

教員氏名	所属・職名・講座名	e-mail
松井博史	経済学研究科	matsui.hiroshi.econ@osaka-u.ac.jp

学生への注意書き